

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年 4月25日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671200527
法人名	医療法人サンライフ
事業所名	国分府中グループホーム
所在地	霧島市国分府中町13-15 (電話) 0995-48-6613
自己評価作成日	平成29年3月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成29年4月13日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

\*認知症の方々が、家庭的な環境の中で、いきいき、のびのび、ゆったりとした生活を送れるように、ご支援させて頂いています。  
\*入居者の皆様が、ご自身の意思で生活のペースや活動を決めて、自立心と自信を持ちながら、人とのふれあいの中で楽しみや喜びのある暮らしを継続できるように努力しています。  
\*医療機関の併設であり、迅速な対応に心掛けています。  
\*ご家族の訪問が多くあり、ご家族での時間を大切に配慮しています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○管理者及び職員は、法人の理念「いきいき のびのび ゆったりと」に添って、日々の介護を行っている。また、職員一人ひとりがケアの姿勢を年間目標として設定し、利用者に対して常に敬愛の気持ちで想いの把握に努め、その人らしい平穏な生活が過ごせるよう取り組んでいる。利用者及び家族の想いや要望等に対しては、職員会議や申し送り時に全職員で改善に向けた検討協議を行ってサービスの向上に務めており、利用者及び家族との深い信頼関係が築かれている。

○ホームは市の中心地より少し離れた大型店舗や住宅が立ち並ぶ一角の広い敷地に法人母体の医療機関及びディサービスセンターの入る建物に設置されており、防災訓練や各種の研修会、各種委員会の運営を一体的に行う等協力関係が築かれている。法人母体はホームの協力医療機関として、通常の治療に加え定期検診や予防接種、日常の健康管理に努めており、緊急時に備え24時間対応の連携も図られて、利用者及び家族の信頼と安心につながっている。

○施設長及び管理者は、日常の業務の中で要望や意見等の把握に努めており、出された意見や要望に対しては速やかに職員全体で話し合って改善を図っている。また、職員のスキルアップにも熱心に取り組んでおり、計画的な職場研修の実施や、外部研修への参加促進、資格取得へのバックアップに努め、職員個人が抱える家庭的事情などにも細かに配慮して、信頼と協力体制を構築した働きやすい職場環境づくりに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念をもとにご本人の意思を尊重して支援方法を検討している。3月には、職員それぞれの理念からの目標の振り返り及び次年度の目標設定を行った。	開設時に作った理念を、日常的に目に触れる玄関ホールに掲げ、職員会議や申し送り時に研修や振り返りを実施して利用者の気持ちを大切にケアにつなげている。また、職員は年度当初に年間のケア目標をそれぞれ設定し、ホールに掲示して理念の実践に努めている。年度末には実践を振り返り、次年度の目標設定につなげる等スキルアップに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	代表が町内会に入り、催事には協力的に参加している。また、地域ケアカンファレンスのメンバーでもある。運営推進会議では、地域の代表の方から行事の連絡を頂いている。	自治会に加入し、地域の人や運営推進会議で地域の情報を得て行事等に可能な限り協力している。敬老会やクリスマス会、餅つき等のホームの行事には家族や地域住民の参加があり、また食事介助や話し相手、生花、車いすダンス等のボランティアの定期的な来訪を受け入れている。家族や友人知人の面会も多く、地域の方から野菜の差し入れ等もあり、交流の機会が多い。「地域ケアカンファレンス」のメンバーでもあり、日頃から地域の高齢者の介護等に関する相談等に丁寧に対応している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	職員は、ご家族や知人、地域の訪問やボランティアの方々に認知症の方の暮らしや病気について話しをしている。入居相談業務も担っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>入居者、家族はメンバーとして出席している。職員から生活の様子を知らせ、意見や感想をもらっている。</p>	<p>利用者、家族、住民代表、老人クラブ会長、行政職員、法人の理事長や事務室長等の参加のもと、定期的開催し、ホームの行事や活動内容、入退去状況、リスクマネジメント対応の報告や意見交換を行っている。また、認知症や高齢者福祉に関する研修の実施や家族からの要望、行政からの制度説明、地域住民から在宅の高齢者の情報など多岐にわたる意見が出され、それらを業務改善に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>管理者は、必要に応じて介護担当窓口へ相談に出掛けたり、電話での問い合わせを行っている。市介護相談員の訪問が年に2回あり、入居者の声を聞いて意見を頂いてケアサービス見直しの機会となっている。</p>	<p>市担当職員には運営推進会議に出席してもらおうと共に、日頃から訪問や電話でホームの運営や諸手続き、利用者の状況についての相談や協議を行う等の協力関係が築かれ、市の介護相談員の定期的な訪問も受けている。また、市主催の研修会や会議に積極的に参加し、グループホーム協議会や地域密着連合会の会合等で行政職員や他施設の職員との意見や情報の交換を行う機会も多く、サービス向上に活かしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月、拘束廃止委員会を行っており他職種との意見交換になっている。2月には、身体拘束0の資料を改めて読み合わせをして意識を高めた。事例学習も行った。</p>	<p>「身体拘束廃止対策マニュアル」を整備し、毎月の職員会議で事故防止策や身体拘束のない支援について、事例をあげながら意見交換や研修を実施している。また身体拘束廃止委員会も毎月開催し拘束のないケアの実践に努めている。玄関や非常口は施錠しないで見守りや寄り添いで安全の確保に努め、言葉による拘束についても日頃から気を配り、ケアへの反映に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	入居者の状況によって、家族へ職員間でのカンファレンスの内容を伝え、支援方法の意見を頂いている。職員には、勤務体制での工夫を行い、リフレッシュが図れるように配慮している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	地域密着連合会での研修で、成年後見制度の学習会に参加した。職場に持ち帰りホーム内での学習会に取り入れた。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、文書で確認しながら説明をおこなっている。質問や不安なことを尋ね、ご理解できるように心がけている。H27.8月の改定時には、文書で説明を行った。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議では、入居者、家族も参加し意見を頂いている。行事参加や訪問時には、要望や困りごとなどを尋ね記録し、職員会議で報告、検討し改善に努めている。	利用者の意見や思いは日常のケアの中での会話や表情、所作等から把握に努め、また家族とは日頃の面会やホームの行事への来訪時の対話、運営推進会議、電話等により相談や要望等の把握に努めている。出された意見や要望は、職員全員で対応を話し合っ改善を図るなどサービスの向上に反映させており、改善の経過や結果については、本人や家族にも報告して理解を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議や法人連絡会など、月1回報告や話し合いを行い、職員の意見を反映できるように配慮している。</p>	<p>施設長及び管理者は、日頃から職員の状況把握と話しやすい雰囲気づくりに努め、日々のケアの中や申し送り、毎月の職員会議等で職員の意見や提案を聞き取ると共に、必要に応じて個別面談の場も設けて把握している。出された意見や提案等は、協議して具体的に職員のスキルアップや業務改善、ケアの向上等につなげている。勤務シフトや外部研修受講等は職員の意向を確認して可能な限り希望に添うよう配慮し、資格取得へのバックアップ等、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人面談時の内容や管理者の意見をもとに、勤続年数や利用者家族からの感想・意見などを加味し、処遇に反映するようにしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員の能力については、日常の勤務状況や管理者の意見をもとに判断している。研修は、参加する研修内容を区分し、法人内の取り決めに従い、参加時間、費用、奨励金の付与をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>グループホーム協議会、地域密着型事業者連合会に加入し、情報を入手、研修会に参加している。霧島市主催の健康福祉祭では、他事業所と協力した取り組みとなっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	のんびりとした雰囲気作りを心掛け、入居の方が気軽に困りごとを伝えられるように努めている。それぞれの方のこだわりを職員で情報を共有している。問題が起こったら、早期に職員カンファレンスを行いチームケアの取り組みをしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	出来る限り、今までの生活に近い過ごし方が出来るように配慮している。相談や意見を頂いた時には、迅速に対応し報告をしている。職員からも家族に相談を行い、一緒に考えていく姿勢で信頼関係を築ける様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居を検討する段階での困りごとや希望を聞いて、グループホームが適応であるか、ご本人にあった環境はどのようなサービスなのか、他のサービスの情報も助言し、決定してもらっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホーム内での役割では、ご本人が進んで出来ることをお願いしている。テーブル拭き、お盆拭き、洗濯たたみ、配膳下膳など、自然に役割が出来ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の方々に、日々の生活記録から、その様子を伝えている。状態に変化があれば、随時報告し意見を頂き、一緒に支援方法を考えるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力を頂きながら、馴染みの場所への外出や、知人の方へは気軽に訪問して頂ける様に声掛けし、来所時はゆっくりと過ごせる環境づくりに努めている。	利用者の生活歴や暮らしぶりの把握に努め、家族や友人等の来訪時にはゆっくりと過ごせるようにお茶や面会の場所に配慮している。家族の協力も得ながら一時帰宅や買い物、法事・墓参り・外食等を支援している。また、遠方の家族に毎月利用者の状況を「ホーム便り」で伝え電話や手紙の取り次ぎも行うなど、馴染みの人や場との関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	たまに入居者同士の過干渉によるトラブルが起こり、タイミングをみて職員が介入する。入居者同士程よい距離感で過ごせるように、日々のレクリエーションを関係性作りに生かしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	気軽に訪問して頂けるよう声掛けしている。看取りで退去されたご家族が、自家野菜を持って立ち寄られ近況を聞くこともある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の3～4名の方は、直接要望を伝えてくださる。遠慮されたり、言葉で伝えられない方へは、声掛けの時の表情、反応によって気持ちをくみ取れるように努めている。	本人の思いや希望は、日常の対話の中で把握し、また会話が困難な利用者からは、表情・仕草等のサインで把握している。裁縫やぬり絵、日記、そろばん等利用者の趣味や特技等への取り組みも本人の希望に添って活動できるよう個別の支援を行っており、利用者の励みになるよう成果に対しても評価の言葉かけや作品の掲示を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人家族、知人の方々、そして他利用機関からも情報を頂いている。ご本人のこだわり、生活パターンに目を向けこれまでの暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護度の軽い入居者は自分のペースで自由に過ごさせている。他の入居者は一般状態を把握しながら、その都度状態に合わせた支援に心掛けている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	状況の変化に応じて、すぐにチームでモニタリングし家族にも相談してケアの方法を検討している。	本人・家族の意向や医師、看護師等関係者からの意見を基に、職員とも協議して、きめ細かな解りやすい内容の「ライフサポートプラン」を作成している。支援の実施状況は「勤務日誌」や「ケア記録」に詳細に記録して職員間で情報を共有している。利用者の状況の変化に対しても随時モニタリングを行い、実情に沿ったプランに変更して支援に取り組んでいる。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者の行動や会話など事実に基づいて記録している。普段と異なった状況の時は詳細に記録するように心掛け情報を共有している。ケアの見直しの際には、その都度カンファレンスを行い家族にも意見をもらい記録の提示をしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家庭的な雰囲気に近い生活をして頂く為に入居者の思いに添ってドライブ、買い物、散歩などの支援を行っている。外部の受診希望があれば家族の状況を踏まえ出来る限り協力をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎週月曜日、1回/2か月、食事介助、会話、歌、ダンスなどの地域ボランティアの協力を頂いている。顔なじみになっており楽しみな時間になっている。なじみの美容室へ出掛けたり、地域の出張サービスも受けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に1～2回の定期受診、体調によっては臨時受診を行い早めの対応を心掛けている。主治医にはいつでも相談できる体制にあり、他科受診では家族と相談し職員同行支援も行っている。特に歯科医には、義歯調整、ブラッシング指導など柔軟に対応して頂いている。	本人・家族が希望するかかりつけ医を選定しており、現在利用者の殆んどが協力医療機関を主治医としている。通院は家族と職員が協力して同行し、利用者の状況によって訪問診療も行われている。協力医療機関とは24時間対応の体制が構築され、予防接種や定期検診、日常的に看護師による健康管理を行っている。歯科医の訪問もあり、相談・予防・義歯調整・ブラッシング指導等実施している。受診の状況は詳細に記録され、家族とも連絡を取り合って共通の認識と対応を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者と日々接する中で変化があれば、職員間で話し合い看護師、医師への相談を行い早期対応を心掛けている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中は、出来る範囲で面会に行き状況を把握し職員の情報共有をしている。家族と連絡を取り出来る手伝いや、退院後の受け入れの準備がスムーズに行えるように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時及び看取りの時期が近付いたら、支援の方向性について職員間、家族、主治医、看護師と相談し、説明文書を渡し説明をしている。支援の場面に添って、ご本人、家族への声掛けや、出来ることを行っている。</p>	<p>重度化や終末期のケアについては、「看取りに関する指針」「重度化した場合の対応に関する指針」を整備し、入居時に利用者と家族に十分に説明を行い、その意向を確認している。重度化した時点で職員、かかりつけ医、家族と十分な話し合いを行い、ホームで可能な限りの支援・対応の実施体制を築いて対応しており、これまで2件の看取りを実施している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時のマニュアルがある。毎年不定期でリスクマネジメントの学習会を行い、事例検討で意見交換をし応用力を付けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練を実施している。運営推進会議では報告を行っており、地域の方からの意見を聞いている。</p>	<p>夜間想定を含む火災、地震、台風時の通報、避難、消火等の訓練を消防署も参加して法人全体で年2回実施しており、階下のディサービスとの協力体制が出来ている。スプリンクラーや自動通報装置、給水タンク等が整備され、防災グッズや卓上コンロ、ラジオ、飲料水や保存食品も準備され、コンセントの清掃も行われている。災害ニュースの事例をもとに対応を協議する等災害対策への意識は高く、今後はホームの防災訓練に地域住民の協力要請を検討している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人の生活歴をもとに、得意なことを支援している。活動後に感謝の気持ちを伝えることで意欲の向上に繋がっている。トイレの誘導では、他の方に気付かれない声掛けを行っている。	プライバシー保護や個人情報の取り扱いについては計画的に研修を実施し、利用者の人格や誇りを損ねるような対応がないよう日々の支援の中でも注意喚起し、常に意識してケアに取り組んでいる。特に排泄や入浴、衣服の着脱時の支援に際しては、利用者の気持ちや尊厳を傷つけることのないよう細かに配慮し、また利用者に係る台帳類の管理も適切に取り扱っている。居室や浴室、トイレ等はプライバシーが確保された構造となっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者から話しかけやすい雰囲気作りを心掛けている。一人ひとりの理解力に合わせて同じ目線で話し、ご本人の希望に沿った行動を支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事はそれぞれのペースで召し上がれるように声掛けのタイミングに気を付けている。生活リズムは健康状態によって自由に居室で過ごせるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服装は、ご本人の意思で選択している。外出時は意思の尊重をしながら支援している。理容は、希望に応じてなじみの美容院へ出掛ける方もいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食のメニューをホワイトボードに記入してもらっている。食材の下ごしらえを手伝って頂きながら食事に楽しみが持てる様に心掛けている。配膳下膳、お盆拭き、テーブル拭きなどをそれぞれ進んで手伝ってくださる。	身体状況に伴う食事制限や形態、栄養バランスに配慮したメニューを3週間毎に作成しており、利用者の好み等にも配慮しながら差し入れの食材も活用して季節感のある食事づくりに努めている。おせち、誕生会、クリスマス会等の行事食や、ケーキや団子など手作りのおやつ、家族同伴の夕食、園庭でのお茶タイム、餅つきなど食事が楽しみとなるよう工夫しており、職員も一緒に歓談しながら食事をしている。その日のメニューは利用者が交代で読みやすく書いて掲示し、利用者は下ごしらえや盛り付け、下膳、食器拭きなどを自発的に楽しみながら行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事水分量は記録し職員が把握しやすいようにしている。不足しがちな方へタイミングを見て声掛けを行う。個々の体調に合わせて食品の形体や調理方法を工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯磨きの出来る方は居室で行っている。洗浄が不十分な方や声掛けの必要な方は、見守りや仕上げ支援を行っている。重度の方は口腔清拭まで行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排尿排便のチェック表を活用している。4名の方にはそれぞれ居室で記録して頂いている。その日の状態に応じて声掛けし、トイレでの排泄を支援している。	利用者の見守りや排泄チェック表の活用で、個々のリズムを把握し、誘導や声掛けを工夫して、可能な限りトイレで排泄できるように支援している。トイレは全居室に備えられており、利用者は夜間も安心して排泄できている。また、利用者状況に添った排泄支援を職員で話し合いプランに組み込んで、不安や羞恥心にも配慮しながら日々のケアを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ自力で排泄できるように、水分、牛乳、ヨーグルト、オリゴ糖、食物繊維を含んだ食材などを取り入れている。体操や腹部マッサージを行ったり、下剤でコントロールしている。ストレス軽減にも配慮している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ゆっくりと入浴して頂けるよう、1日3名の支援をしている。入浴日を決めているが、体調不良や気分が乗らなかったり、外出などあるため、柔軟に変更をしながら、ご本人の希望に添って入浴できるように配慮している。皮膚の状態、身体機能の確認を行う。	入浴は週2回が基本であるが、排泄の失敗等に対しては即時に清拭や入浴で清潔を保持し、予定外の入浴希望にも柔軟に対応している。利用者の好みの温度や時間、入浴剤等細かに配慮してゆっくりと楽しんでいただき、皮膚疾患の手当も行ないながら親密なコミュニケーションを図る場にもなっている。入浴を拒む利用者には無理強いしないで、声掛けやスタッフの変更など工夫して入浴への意向を待つようにしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の巡視は、睡眠の妨げにならないように音や灯りに気を付けている。夜用パットを使用することで安眠支援をしている。日中は気の向くままに居室に戻り休息をとって頂いている。要介助の方は声掛けして意思を聞いて支援する。		
47		○服薬支援  一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬と薬手帳を共に保管し、確認しやすいようにしている。変更や臨時薬が出た場合は、記録の残し職員が把握できるようにしている。誤薬の無いように確認声掛けに気を付けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	四季折々の行事を計画し、入居者のかたと一緒に準備をしている。心身ともに楽しみや感動できるように努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出希望に添って出来るだけの支援に努めている。家族と一緒に計画して同行して頂いたり、自宅に帰り家族との時間を過ごして頂くなどの支援を行っている。	日常的に階下のディサービスの利用者との談笑や園庭の散歩、墓参、買い物等を利用者の体調や天候等に配慮しながら意向に添って外出支援に努めている。入居者の重度化により、全員一斉の外出は難しいが、家族と協力して季節の花見やミニドライブ、レストランでの外食、一時帰宅、墓参等の外出を支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	5名の方はお金を所持されている。ヤクルトの訪問販売時に購入支援をしている。買い物の希望があった時にすぐの対応が難しい、職員に余裕のある時にはお誘いしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	入居者の希望に添って電話をかけてもらう。贈り物が届いたらお礼状を書いて頂いたり、遠方の家族への手紙、年賀状などの支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の洗面トイレは毎日掃除を行い気持ち良く過ごして頂けるよう努めている。ベランダに花を植え、壁には季節感のある作品を飾る工夫をしている。個々の動線に配慮した家具の配置にしている。	ホームは建物の2階に設置され、玄関脇のフロアに通じる広いリビングにはテーブルセットやソファがあり、畳部分と広いテラスも設置されている。四方の大きな窓からは近隣の住宅や花木、街並みが、また遠くには桜島や霧島連山が望め、利用者は好みの場所でゆっくり四季を感じながら生活している。利用者手作りの作品や花、写真等が掲示されて落ち着いた和やかな雰囲気となっており、整理整頓され、採光・空調にも十分配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング、食堂、キッチンはワンフロアで開放的になっている。それぞれ好きな場所で過ごせる工夫や声掛けを行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際に、ご本人の愛着のあるものを持ち込んでいただいている。家族の写真、趣味の品物、作品、好きな芸能人のポスターなど飾り、居心地良い環境を作られている。寝具は、自宅での私物を使用しゆっくり休まれている。	余裕のある居室はフローリング仕様で、利用者の状況に応じた整理整頓や清掃など衛生面にも配慮した支援に努めており、全居室にベッド、エアコン、トイレ、洗面台が備えてある。家庭と同様に落ち着いた過ごせるように、利用者は使い慣れたテレビやタンス、整理棚、家族写真、自分の作品、小物等を自由に持ち込んで、その人らしい和やかな空間となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	センサー足元ライト、ナースコールを設置している。認知症で不意に動かれる方には鈴を活用し、拘束を感じさせない配慮をしている。共同空間での座席はほぼ決まっているが、それぞれの意思で思うままの場所できつろいでいる。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない